

情報生成者(施工者B)

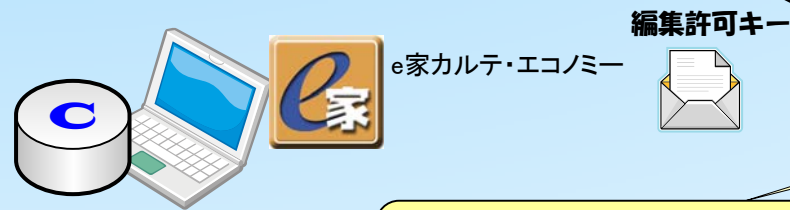
第三者機関 + 情報活用者

住宅所有者(顧客)

【改修時(2回目)】

⑭編集許可キーと完了予定日で、FIXを解除し、データを追加していきます。

※データベースの設定で、「編集許可キーの入力」を行い、FIX状態を解除します。



※完了後、「eKarteサーバを更新する」で送信する。

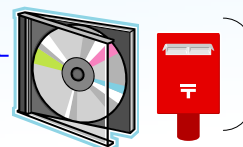
⑮改修工事完了後、第3者機関へ更新する。

予定工期内で終了しなかった場合、催告表示を行う

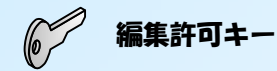
⑯予定工期内で終了しなかった場合、工期延期をサーバに通知する。
それでも予定工期編を過ぎた場合には、編集許可キーが無効になり、編集ができなくなる。そこまでの編集分がFIXされサーバに送信される。

アラート設定日が到来すると、画面右下にポップアップ表示される

⑰住宅所有者向けFIXデータセット作成後、お客様へ郵送する。



⑫住宅所有者からの申請により、「編集許可キー」を発行し郵送する。



⑪施工者Bへ2回目の改修工事を依頼する際は、第三者機関へ連絡する。



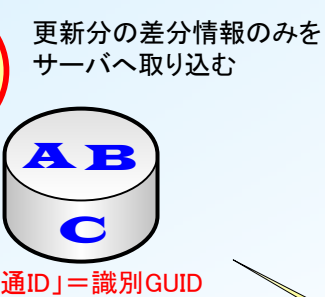
⑬編集許可キーと完了予定日を、施工業者Bに通知する。

■予定工期が過ぎていないか？



終了した場合

終了しなかった場合



■工期延期があるか？

工期延長の場合

無効の通知を行う

編集許可キー



※インターネットに接続されていれば、追加された住宅履歴を自動的に取り込みます。



アラート設定日が到来すると、画面右下にポップアップ表示される



※【e家カルテ・エコノミー】で、新築市場・中古流通・賃貸管理・維持管理面で必要とされる「住宅履歴」を登録・蓄積することによって、その「住宅の価値」を高めます。